

意見聴取会 意見陳述申込書

天塩川流域委員会 宛

天塩川の河川整備・管理について、次のとおり意見を述べたいので申し出します。

平成 17 年 3 月 22 日

意見陳述申込者

ご 氏 名

年齢 62 歳

性別 ☒ 男・女

ご 住 所

天塩郡天塩町

1. ご 意 見

天塩川は流域面積 5,590 K² 日本では 9 番目また幹川流路延長は 256 Km と石狩川の 268 Km に続く北海道では 2 番目、日本でも 3 番目に長い幹川であり、流域市町村は 3 市 10 町村流域内の人口は約 10 万人とも言われている天塩川は河川沿いに市街地や田畑・牧場など土地の利用が進んでいる、又中流から上流は J R や国道が併走しているので、ひとたび堤防が決壊することがあれば大洪水に見舞われその被害は甚大であると思われます、天塩川は昭和 48 年、昭和 50 年には 8 月 9 月の 2 回、昭和 56 年の 8 月、平成 13 年の 9 月と過去 5 回の堤防の破堤による洪水の歴史があります、私自身雄信内農協の職員時代の昭和 56 年 8 月の洪水のとき天塩川下流のタツネウシ地区の堤防破堤を防ぐべく土嚢積を昼夜兼行で行った経験があります、天塩川の水位が堤防の下 30 センチ位まで上がり暗闇の中水のチャポン・チャポンとゆう水の音、そのときこの堤防が決壊したらその流域に点在している酪農家は全部流されてしまう、其のことを創造しただけで、そら恐ろしく感じ今もあの恐怖感は忘れることが出来ません。幸いのことに土嚢積み効果もあり又それ以上水位が上がらず破堤することにはなりませんでした。

その頃タツネウシ地区の堤防と町道の併用について協議がなされていたと記憶していますが、その破堤寸前だった状況を踏まえ昭和56年以降堤防の整備が急速に進んだように思います、これらの成果が現れ平成13年には洪水はあったものの昭和56年までに起きた大きな洪水の氾濫は発生していないと思われそうですが何時又、予測の付かない事態が生じることも懸念されますので堤防の整備はもとより洪水が予想される場合等について次のことについて万全を期して 頂きたいと思います。

1) 洪水予報及び水防警報の提供および危機管理体制の確立について。

このことについて各市町村への水予報及び水防警報の緊急連絡などについて確立がなされているのか、また市町村から市街地・各集落への連絡・情報提供及び情報網は確立されているのか、今現在の情報網はどうなっているのかを知りたいと思います。

2) 天塩川の下流域ではシジミ漁・増殖のためのサケ捕獲等、内水面漁のためにも

天塩川を清流にすることが大事であると思われ、このことから現在天塩川を清流にする会が天塩町にあり活動をしている状況にありますが、天塩川の河川沿いには市街地・田畑・牧場などが点在している、市街地から出てくる下水道の水、また田畑・牧場などの地下を浸透して小河川をとり回して流れてくる水、これらの水質はどうか私がこの地に来た昭和49年頃は本流も支流も橋の上から見ても川の水が透き通っていたのですが、今は残念なことにそんな状況にはありません特に酪農地帯は糞尿の処理などについて今問題になっているが酪農家の糞尿の地下への垂れ流し、これらを防止するため国の2分の1の補助によるリース事業で堆肥舎の整備を行っていましたが最終年度である平成16年度迄に酪農家全戸が整備することは難しい状況にあったが平成17年度からもこの事業が継続されることから糞尿の処理問題については良い方向に進むと思われ、本流はもとより酪農家が点在する支流についても水質汚染状況について常に調査されることが望ましいと思われ。

3) 天塩川の上流より粗大ごみ等が大雨のあと流れてくることがあります

これらごみ等の詳細の調査は行われているのでしょうか又処理についてはどうなっているのでしょうか。

4) ホームページをみますと次のことが載っていますが、全部努めるとなっていますがこれは将来に向かってのことと思われるが今現在進めていることを具体的にお聞きしたいです。

- * 天塩川らしい河川環境の保全に努める
- * 良好な水質の保全に努める
- * 魚類の移動経路の確認に努める
- * 人と河川とのふれあいの場の確認に努める

まだ色々ありますが機会がありましたら其の場所で詳細に報告をしたいと思いますが今回はこれらのことについて私なりに経験したこと、常日頃思っていることについて書いてみましたのでご参考になりましたでしょうか、宜しくお取り計らい願います。